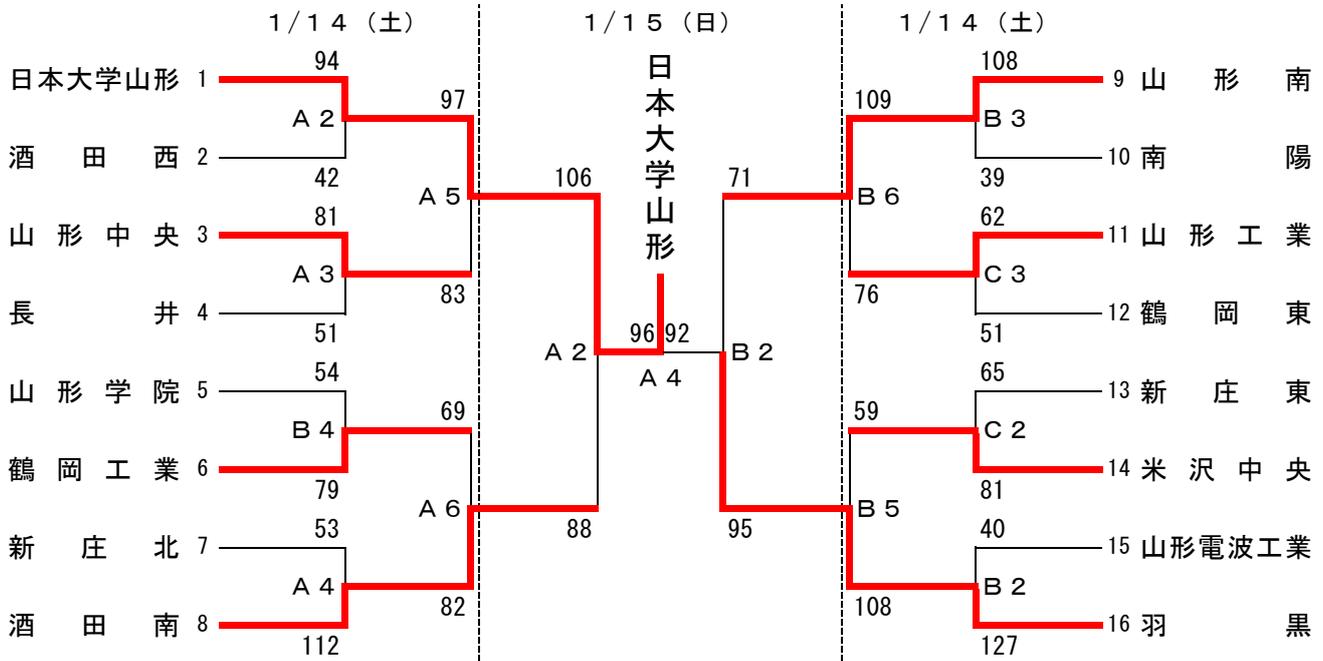


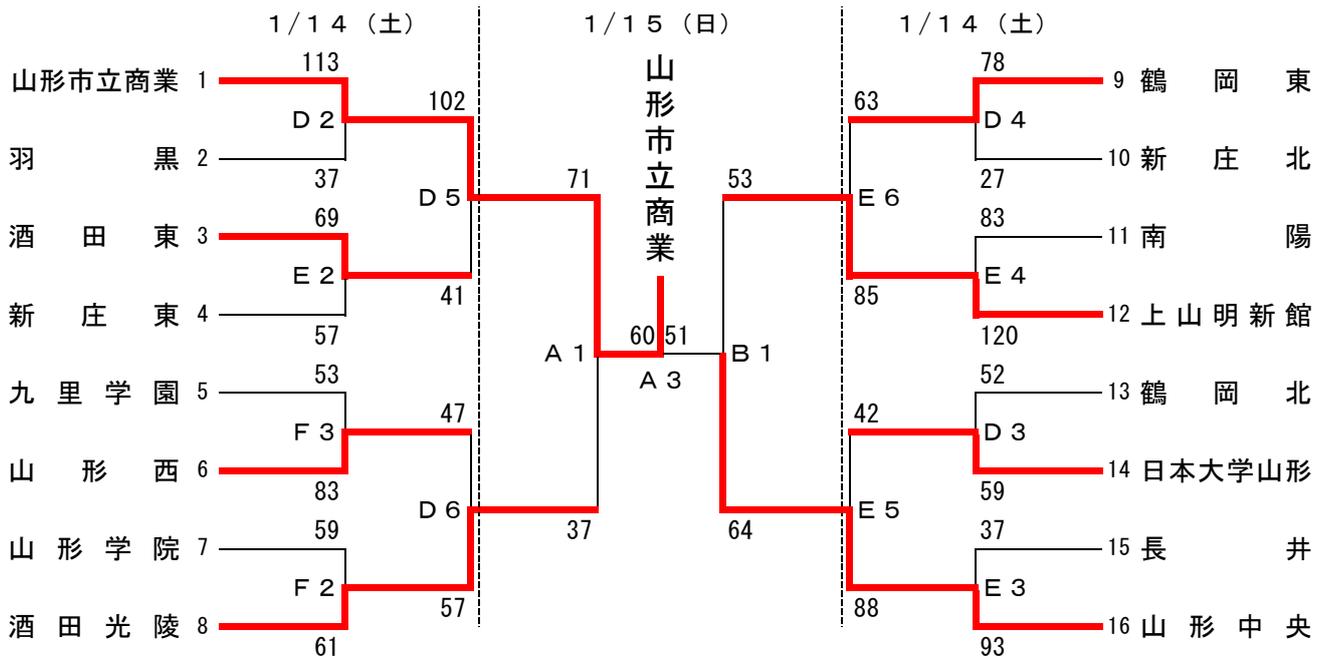
平成28年度 山形県高等学校新人体育大会 バスケットボール競技

平成29年1月14日・15日

【男子】



【女子】



《試合時間》

第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
9:00~	10:30~	12:00~	13:30~	15:00~	16:30~

《会場及びコート》

山形県体育館	A・B・Cコート
山形中央高校体育館	D・Eコート
山形西高校体育館	Fコート

戦評用紙

大会名	平成28年度山形県高等学校新人体育大会バスケットボール競技
-----	-------------------------------

日時	2017年1月15日 13:40 ~	区分	山形県高校体育連盟
----	--------------------	----	-----------

チームA				チームB
日本大学山形				羽黒
96	21	1Q	20	92
	11	2Q	27	
	30	3Q	24	
	25	4Q	16	
	9	延長	5	

【戦評】

白のユニフォーム日本大学山形高校と青のユニフォーム羽黒高校の対戦。白は#5・6・7・8・10青は#4・5・7・10・12がスターティングメンバー。

1Q、両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンス。先制点は白#10。ミドルジャンプシュートを決める。序盤は両チームともオフェンスリバウンドを拾い、点数を重ねていく。白はアウトサイドのシュートを決め引き離しにかかるが、青は#10が連続でドライブを決め、話されない。一進一退の攻防が続き、白21-20青で1Q終了。

2Q、先制は青。#13がインサイドプレーで得点する。白も#10がすぐさま入れ返す。しかしここで青#4、#10が連続で3Pシュートを決める。白も得点を返すものの徐々に点差が広がっていく。5分、白29-32青のところ白が1回目のタイムアウト。しかし流れを止められず、青が#4の3Pシュート、#10のドライブと連続で得点を決める。白は前半2回目のタイムアウト。白29-41青。青が点差を広げていく展開。最後も青が3Pシュートを沈め白32-47青を15点差で前半を折り返す。

3Q、先制は青。#10がドライブから得点を決める。対して白も#7がドライブからバスケットカウントを決め取り返す。白はここからオールコートのマンツーマンディフェンスを仕掛ける。白は#10のドライブ#7の3Pシュートで点差を詰め、3分、白42-51青となったところで青が後半1回目のタイムアウト。その後青は#10のアウトサイドシュートやドライブからオフェンスを組み立てていく。青は#4が3Pシュートを決め引き離しにかかるが、白も#7が3Pを入れ返す。白62-71青で3Q終了。

4Q、青はディフェンスをハーフコート2-3ゾーンに変える。先制は白。#8がリバウンドからバスケットカウントを奪う。このまま追い上げたいところだが、青は#4が3Pシュートを決める。白66-76青、白が後半1回目のタイムアウト。その後は青のアウトサイドが落ち始め、徐々に白が点差を詰める。白が#8の3Pシュート、#10のドライブで一気に点差を詰め、6分、白76-79青となったところで青が後半2回目のタイムアウト。その後はお互いに積極的に攻撃、残り時間1分を切ったところで、白84-85青、青のリード。白は残り5秒で#7が3Pシュートを決め逆転したが、青は最後のワンプレーでブザーと同時にシュートファールを受け#10がフリースロー。これを2本決めて延長に突入した。

延長、最初の得点は青、#13がミドルシュートを決める。対して白は#7の3Pシュート、#8のパスカットからの速攻でリードを奪う。青も#4が3Pシュートを決め同点まで追いつくが、白#6がドライブからタフショットを決めリードする。最後はファールを受けた白#10がフリースローを2本決めてゲームを決定づけ、そのまま試合終了。日本大学山形高校が勝利を収めた。

両チームとも最後まで諦めない姿勢が素晴らしく、年初めの優勝決定戦にふさわしい好ゲームだった。

戦評者

神位 裕介

戦評用紙

大会名	平成28年度山形県高等学校新人体育大会バスケットボール競技
-----	-------------------------------

日時	2017年1月15日 12:00 ~	区分	山形県高校体育連盟
----	--------------------	----	-----------

チームA				チームB
山形市立商業				山形中央
61	9	1Q	20	51
	16	2Q	15	
	21	3Q	7	
	15	4Q	9	
		延長		

【戦評】

白のユニフォーム山形商業と紫(青)のユニフォーム山形中央の対戦。

1Q、白は#6・7・8・9・13、青は#4・7・8・9・14がスターティングメンバー。両チームともハーフコート
のマンツーマンディフェンスでゲームが始まる。先制は青。エンドランからのスローインでセットプレーが決
まりバスケットカウント。ボーナススローもしっかり決める。一方白もファーストブレイクから得点する。その
後は両チームとも厳しいディフェンスでスコアが動かない展開となる。しかし3分過ぎ、青のミドルシュート
が連続で決まり点差が付き始める。6分、白4-13青となったところで白が1回目のタイムアウト。その後
も厳しいディフェンスで一進一退の展開が続き、白9-20青で1Qが終了する。

2Qも先制は青。コーナーからの3Pシュートが決まる。白がなかなか得点を伸ばせない間に、青はアウト
サイドからのシュートを沈め点差を広げていく。3分、白9-25青となったところで、白が2回目のタイム
アウトを取る。ここから白がドライブインからファールを誘い、徐々に点差を詰める。6分白15-26青と
なったところで、青が1回目のタイムアウト。その後は両チームとも得点を重ね、白25-35青で前半が
終了する。

3Q、先制は白。#4のドライブからミドルシュートが決まる。白が得点を重ねる一方で青は攻め手を欠
き、徐々に点差が詰まる。5分、白35-37青と2点差まで詰まったところで青が後半1回目のタイムアウ
ト。タイムアウト明け、白#4の3Pシュートが決まり、ついにこの試合初めて白がリードを奪う。その後は白
の厳しいディフェンスから青が得点できない間に、白が着実に得点を重ね点差を広げていく。しかし最後
は青が連続で得点を決め点差を詰めて3Qが終了する。白46-42青。

4Q、先制は青。#7の3Pシュートが決まる。すぐさま白は高さを生かしたインサイドプレーで得点を取り
返す。青は積極的にアウトサイドシュートを狙うものの決まらずに得点を伸ばせない。一方白は#4、#14
のアウトサイドや#9のインサイドで点数を伸ばしていく。5分、白57-45青となったところで青が後半2
回目のタイムアウト。しかし白の勢いを止めることができず万事休す。山形商業が白67-51青の16点
差で勝利を収めた。

両チームともディフェンスが厳しく、よく鍛えられた選手たちであった。好ゲームを繰り広げた両チームに
拍手を送りたい。

戦評者

神位 裕介